

# 環境活動と経済活動を両立 オリジナル商品も開発し “年賀で植林”プロジェクト始動

印刷

株式会社  
プリプレス・センター  
中央区北2西14

環境保全 ■社員参加 ■機会創出

## 環境負荷低減のため できることを積極的に

「環境負荷を抑えた製造体制を構築し、持続可能な循環型社会の実現に貢献する」。プリプレス・センターでは明確なビジョンを設定し、それに基づいた事業活動を展開しています。印刷事業では、有害物質を排出しない「水なし印刷」や、適切に管理された森林からの原料

を含むFSC<sup>TM</sup>\*認証紙を採用するなどして、環境に配慮した印刷を積極的に推進。平成20年からは一般消費者参加型の「グリーンエコ年賀状プロジェクト」も実施しています。

## みんなで森をつくる 新しいエコ年賀状を企画

「グリーンエコ年賀状」は同社独自のCO<sub>2</sub>オフセット商品。

主にネット上で販売し、売上げの一部で美幌町「年賀の森」に植樹を行っています。商品にはサイトに誘導するQRコードを印刷。年賀状を受け取る側にも「年賀で植林」の取組を広く発信しています。

この商品が注目を集め、2年間で約2700本のカラマツを植樹しました。川向公博総務部長は、こうした活動のポイント

### 成功の秘訣

消費者にも  
アピールできる  
わかりやすさ

を「消費者にきちんと見えていくこと、わかりやすさが大切」と話します。取組の結果が出ることで社員のモチベーションが上がり、相乗効果も生まれているそうです。



1



2

3

①藤田靖代表取締役と社員で美幌町にある「年賀の森」に植樹  
②市内「サミットの森」。北海道グリーン購入ネットワークの活動にも参加  
③「グリーンエコ年賀状」(名入れ)印刷310枚分でカラマツ1本が植えられる



結果があまりに良かったので翌年、2台目も購入した生ごみ処理機

大正から続く老舗の仕出し屋、喜久一では、食品廃棄物や割り箸のリサイクルに取り組んでいます。きっかけはラジオ番組でごみのリサイクルの話聞いたことでした。「毎日大量に出る生ごみを前

料理・弁当仕出し

## 喜久一本店

中央区南13西8

環境保全 ■物品提供

## きっかけはラジオ番組で聞いた話 生ごみや割り箸を独自にリサイクル

銭湯で焚き付けに使ってもらっています。「新聞で、子どもたちが近所の飲食店で廃棄される割り箸を収集し、製紙工場に持って行ってという記事を読んで思い付いた」といいます。今後は植林活動にも取り組む考えです。

うまく処理する方法はないかと考え、生ごみ処理機購入を決断した」と伊藤隆彦専務取締役。処理機導入後はごみの量が随分と減り、できた堆肥はミニ菜園に利用したり、知り合いの農家にあげるなどして有効活用しています。一方、回収されてくる割り箸などの木材ごみは、近所の



割り箸のほか、サケの箱やカマボコの板など意外と多い木材ごみ



「子どもたちは泥遊びをする感覚で楽しんできた」と阿部代表

阿部花園の阿部哲也代表は平成22年春、孫が保育園に通い始めたのを機に、園児に向けた花育活動を始めました。「子どもたちに花や土にふれる機会を与えたい」と保育園に申し出たところ、快諾を得

花き卸売

## 株式会社 阿部花園

白石区流通センター

教育 ■社員参加 ■物品提供

## 子どもたちに花や土にふれる機会を 保育園での花育活動をスタート

阿部代表は「思っていた以上に子どもたちが喜んで参加し、花を可愛がってくれて、うれしく思っている。今後は花育活動を会社の経営理念に位置付け、コツコツと長く続けていきたい」と話します。

て実現したといえます。当日は花の苗や土、プランターを車に積み、社員と一緒に出向きました。園児には自分で好きな花を選んでもらい、手取り足取り植え方を教えます。その後、保育園では、プランターをおしゃれな木製ケースに入れ、花の名前を書いたプレートを付けて、今も大切に育てているそうです。



園児と阿部花園のスタッフで植えた花。保育園で大切に育てられている

● 本業を活かす



平成22年秋に行われた料理教室の様子。この日はそば打ち体験を実施

札幌市の区役所などで食堂を経営している白石観光。利用者への恩返しを考えた布施正樹代表は、調理師や生産者と連携し、食育を目的とした「札幌市民と北海道の農水産物を食する会」を発足させま

区役所などの食堂経営

## 白石観光株式会社

厚別区上野幌

その他 ■その他

## 利用者への恩返しに 調理師や生産者と連携した食育活動



勉強会で講師の話に興味深く聞く参加者。講師は全道各地から招く

した。数カ月に1度、市民を対象に食に関する勉強会と料理教室を開催しています。

勉強会の内容は、健康をキーワードに栄養学から生産の背景まで幅広く、後日レシビとともに冊子にまとめ、参加者に郵送しています。また、レシビは区役所の食堂のメニューとしても活用。客に喜ばれるのみならず、スタッフの食の提供者としての意識や責任感も高まったそうです。布施代表は「講師の確保やテーマ探しなど苦労はあるが、参加者の喜ぶ顔を見るとやめられない。信じて続けるのみ」と熱意を見せます。

生ごみ再利用

花

育

大人向け食育

まちづくり

不動産業

## 丸栄寺田商事株式会社

北区篠路

環境保全 ■物品提供

**蔵書や不要本で私設図書館  
近隣の住民に無料貸出**  
引越越し現場で顧客から処理を依頼されること多い不要本と読書好きだった先代社長の蔵書を活かし、地域に何らかの貢献ができればとの思いで、社屋2階に私設図書館「寺田文庫」を開設。本業の宣伝チラシでも周知を図り、近隣の住民ら利用者に喜ばれています。



所蔵約5千冊はジャンル別に整理

広告代理店

## 株式会社 ヨミックス

中央区北4西4

福祉 ■社員参加 ■機会創出

**児童養護施設の子どもに  
夏の思い出をプレゼント**  
家庭の事情で夏休みに帰宅できない児童養護施設の子どもたちをルストリゾーに1泊2日で招待し、社員も引率者として思い出づくりに協力しています。38年間続くこの活動は、賛同する企業が読売新聞に広告を掲載し、その際に生じるヨミックスの収益を充て実施されています。



子どもたちから寄せられた感謝の手紙

まちづくり会社

## 株式会社 ノーザンクロス

中央区北1西5

環境保全 ■機会創出

**「サツポロ・ミツバチ・  
プロジェクト」を展開**  
環境指標生物であるミツバチとのふれあいを通じて都心の環境を見直し、都心の環境保全や魅力づくりを進める活動をまちづくりの一環として実施。  
ビルの屋上を緑化しミツバチの生育環境を整えると同時に、はちみつなどを題材にしたイベントも開催しています。



子どもたちと一緒にビル屋上で採蜜体験

● 本業を活かす

各種教室開催

無料演奏会

寄付付自販機

就労体験

自動車中古部品販売

石上車輛株式会社

豊平区月寒東

環境保全 ■社員参加

**「自動車リサイクルの森」**  
**廃車1台で1本の木を植樹**  
 一般ユーザーから引き取った廃車1台につき、カラマツ1本を美幌町に植林し20年間管理する「自動車リサイクルの森プロジェクト」を平成20年に始動。「リサイクルを通じて地球環境に貢献」というコーポレートスローガンの下、長期的な視点に立った活動に取り組んでいます。

これまで約9千本のカラマツを植樹



音楽教室運営

ハート音楽院株式会社

中央区大通西2

文化芸術 ■社員参加 ■技術提供

**生の音楽にふれる機会を20年以上継続する演奏会**  
 福祉施設や幼児教育機関からの依頼を受け、出張演奏会を行っています。演奏会は学院の講師陣によるピアノやギターなど様々な楽器のアンサンブル。授業の合間を縫っての日程調整は大変ですが、「生の音や楽器にふられるいい機会とすれば」という一心で続けています。

奏者も楽しんでるのが長続きの秘訣



職業訓練校

株式会社 北海道ビジネス  
アカデミー専門学院

北区北7西4

その他 ■機会創出

**自前の野菜販売店を立ち上げより効果的な職場実習の場**  
 関係各省市・団体の就職支援や人材育成関連事業の職場実習のために自前の野菜販売店「サニータイム」を立ち上げました。通常は他企業に受け入れてもらう実習について、同学院のこれまでのノウハウを活かし、目の届く直営販売店での効果的、実践的な訓練を行う試みです。

店では運営全般にかかわる経験を積む



証券業

上光証券株式会社

中央区北1西3

その他 ■機会創出

**資産運用のコツ教えます**  
**無料の出勤セミナー開催**  
 資産運用を学びたい、始めたいという道民のニーズに応え、無料の出勤セミナーを開催しています。講師は社員や社外専門家が担当。オリジナルのテキストを作り、規模や内容に応じて年100回程度実施しており、支店のない遠方エリアへの「出勤」も積極的に行っています。

主婦の勉強会から大規模なものまで行う



コーヒー豆販売、喫茶店経営

ロイズコーヒー  
ユニオン株式会社

中央区南21西10

教育 ■社員参加 ■技術提供

**小中学生を店舗に招き職業体験学習を実施**  
 近所の小中学校からの要望で、店舗にて生徒の職業体験学習を実施しています。小学校低学年は質疑応答、同高学年、中学生はスタッフながらに接客やコーヒーを淹れる作業などの日常業務を手伝います。担当者は「働くことの喜びや面白さなどを感じてもらえれば」と語ります。

おいしいコーヒーの淹れ方にチャレンジ



清涼飲料販売

北海道キリンビバレッジ  
株式会社

中央区北11西19

その他 ■資金提供 ■物品提供

**自動販売機を通してピンクリボン活動を応援**  
 乳ガンの早期発見、診断、治療の大切さを啓発するピンクリボン活動を応援しています。ピンクリボン自動販売機を設置するほか、イベントにも協力。この自動販売機の売上は販売店と同社で各1%ずつ、日本対がん協会ほほえみ基金に寄付されています。

市内に設置したピンクリボン自動販売機





毎回さまざまなテーマで開催される教室。募集人数以上の申込みがある

「子どもの『理科離れ』が進むなか、電気事業とかかわりが深い科学技術の分野で、青少年の育成をサポートしたい」。そんな思いから、もともとは技術研究所だった建物を利用し、平成7年に「科学

電気・ガス

## 北海道電力株式会社

中央区大通東1

教育

■物品提供

### 小中学生向け科学実験、工作教室開催 専門部署による取組が成功の秘訣

木戸誠司館長はこの取組が成功していることについて、「専門部署を設けて行っていることがポイントでしょうか」と話します。

である「おもしろ実験室」を開設した北海道電力。土日や夏休みなどの休校日に小中学生向けの科学実験、工作教室を開催し、そのほかの日は同施設の図書コーナーなどを一般開放しています。教室への参加者は抽選で決定しますが、年々応募が増え、倍率はうなぎ上り。リピーターも多く、設立時に比べると年間の教室開催回数は倍以上になっています。



写真はおもしろ実験室。参加者に向けた無料送迎バスも運行している



病院で通常業務をしながら、野生動物保護に取り組んでいる

開業以来、傷ついた野生動物の保護やリハビリ、飼養に取り組んでいる齋藤聡院長。北海道には野生動物が身近にいますが、保護収容施設や関連機構がなく、それが取組を始めた理由だといいます。

動物病院

## 有限会社 石山通り メディカルセンター

中央区南17西10

環境保全

■その他

### 野生動物の保護やリハビリへの取組 エゾシカやクマの捕獲も

このほか、世界各地で海洋油汚染事故の被害に遭った野生動物の救護にも携わっています。北海道では漁協組合や第一管区海上保安部と連携何かあった時にはすぐに駆けつける準備を整えています。

講演会を行うなど活動の幅は広く、ここ数年はまちに出没するヒゲマヤエゾシカといった有害鳥獣を麻酔銃で眠らせ捕獲し、山に帰すこともしています。道内で対応しているのは齋藤院長のみ。完全なボランティアです。危険を伴い、けがをしたこともありましたが、「市民の安全を守るために」と続けています。



海の油汚染で被害に遭った動物の保護活動も。写真はその講演会の様子



同社の職人が技術を“伝授”。一般の人が利用できる施工体験工房

地域貢献活動を社員の人づくりの一環として位置付け、社屋裏手にある公園の清掃を行っています。「小さな会社は地域の人に支持されてはじめて事業が成り立っていく。大手のような宣伝力がないか

リフォーム・内外装工事

**株式会社 アスペック**  
**コーポレーション**

東区北32東18

その他 ■社員参加 ■技術提供

## 地域との絆づくりを大切に考え できること、役立つことを積極的に実践

また、同社では以前から東区の老朽化が進む会館の壁の無料リフレッシュ工事を検討。これから毎年1カ所ずつ実施することを計画しています。今後は志を同じくする会社や商店とともにイベントなども企画し、地域づくりに貢献していきたいと考えています。

長年の清掃活動は地域から感謝されています。町内会からは「恩返し」の意味を込めて、元町公園会館改修工事の依頼が同社にありました。現在、住民参加型の工事方法を同社から提案中です。



公園の清掃活動は週2回。社員が持ち回りで業務開始前に行っている



コンサの森で行う「森の教室」。カミネッコンでヤチダモなどを植樹

「ホームアイランド北海道」を掲げ、全道各地で地域貢献活動を実施。選手によるサッカー教室、年間100カ所を

コンサドーレ札幌運営

**株式会社 北海道**  
**フットボールクラブ**

豊平区羊ヶ丘

環境保全 ■人材活用 ■機会創出

## 地域に密着した様々な活動を展開 子どもたちに豊かな緑を残す森づくりも

平成20年からは環境保全の取組の一環として、台風によって大きな風倒被害を受けた支笏湖周辺国有林の復興を目指す「コンサ百年の森づくり」を開始。一般公募の参加者とともに、3年間で約7千本の苗木を植樹したほか、子どもたちに森の役割や大切さを知ってもらうために「森の教室」も開催しました。

超えるドーレくん（クラブマスコット）の福祉施設や幼稚園・保育園訪問、ホームゲームの際に小・中学生を無料招待する「夢プランファミリースhirt」事業など、活動は多岐にわたります。



「森の教室」に参加した千歳市立緑小学校の子どもたち  
※写真提供/H.F.C



DOINGではサークル活動も盛ん。カミネッコン作りでは古紙提供も

社屋を新築した際、2階に多目的室「DOING」を造り、地域への無料開放を始め、地道ながさわ。それまでの地域にはなかった文化教室や集まりなどに使ってもらおうと考えてのことです。

新聞販売所

## 有限会社 道新ながさわ

清田区平岡

文化芸術 ■物品提供

## 文化教室や集会に使ってほしいと2階ホール「DOING」を無料開放

このほか、車椅子も無料で貸し出しており、近郊の人には「お届け&回収」サービスも実施。次第に利用者が増えてきているといえます。

葛西和光専務取締役は「これからも、地域の役に立つことなら何でもやってみたい」と意欲的に話します。



専務取締役の葛西さん。「DOING」のある社屋の前で

教室募集などの告知は特にしませんでした。口コミで広がり、現在、押し花やウクレレ、ヨガ、子ども向けのダンスなど、毎日多種多様な教室が開催されています。会場利用料を徴収しないことで、どの教室も受講料が安く済んでいるそうです。

土木、舗装、とび・土工、造園

## 株式会社 日栄建設

厚別区厚別西

環境保全 ■その他



鉄骨にネットを張った立派なごみ箱。社員で手作りし、無償で提供

冬は雪で隠れてしまうごみステーション。不便を感じるのはもちろんですが、除雪の作業もしづらいことから、「しっかりとごみ箱があった方がいい」と下谷内尊則代表は考えたといえます。町内

## 使いやすいうえ、見た目もすっきり 廃材を用いた手作りのごみ箱

このほか、毎年春には、近郊の同業者と連携し、大規模なボランティア清掃も行っています。

「使いやすさ」「見目がきれい」といった感謝の言葉がモチベーションになっていくそうです。



「住宅街にある会社なので地域への感謝の思いは深い」と下谷内代表

会に話を通し、手作りのごみ箱を提供することを決意。地域への恩返しへの気持ちも込めて、平成16年から毎年2〜3基ずつ製作、設置しています。

ごみ箱の材料には工事現場で不用になった鉄骨などの廃材を利用。制作には溶接が必要なため手間も時間もかかりますが、地域の人から寄せられる「使いやすい」「見目がきれい」といった感謝の言葉がモチベーションになっていくそうです。



現場周辺での地域貢献活動では、苗穂児童会館で自然工作教室を開催



北海道の恵みを感じる新しい製品デザインを募集。36作品が寄せられた

平成15年度に「グリーンアクション」宣言を行い、本社と営業所において環境活動を継続的に実施。内容は植樹や清掃、子ども向けの環境教育、工事現場周辺地域の環境マップ作成など盛りだくさんです。

## 部門のキーマンや社員がアイデアを出し 他主体との連携も含めた環境活動を実施

同社の「環境キーマン」である高橋秀夫品質環境室長が考えるのは、「先駆的で、道内経済が潤うような取組」。自ら環境市民団体に所属し、その活動やNPOなどとのつながりが取組のアイデアソースになっています。

現場事務所ではベレットストーブを利用するほか、消費電力の一部を対象にNPO法人北海道グリーンファンドからグリーン電力証書を購入。自然エネルギーを利用して作られたグリーン電力を活用し（平成21年度実績…9千kW h）、地球温暖化対策に取り組んでいます。



同社と町内会で管理するコミュニティガーデンの雑草取りをする社員

北海道洞爺湖サミットの開催をきっかけに、「企業としてできることはないだろうか」と考えたところからプロジェクトがスタート。平成19年「北海道カムイミントラブランドデザインコンクール」

## 地域産業活性化にデザインの力を活かす 企業が連携・協力しコンクールを開催

製品化を実現しました。山本真裕代表と山本一枝専務は「企業の連携で経済の活性化につながる仕組みを育て、また、デザイナーが道内でも希望をもって活動できるレールを敷けたら」と話します。

事務局を設立しました。メンバーは、同社の呼びかけに賛同した市内のデザイナーやIT関連、製作、販売の9社です。北海道の若いデザイナーの道内定着、良質なデザイン製品の創出と販売体制の構築を目指し、翌年第1回のコンクールを開催。「森と暮らす」をテーマに製品デザインを募集し、優秀賞選出作品の製品化を実現しました。



山本真裕代表（右）と山本一枝専務。産学官連携活動にも取り組んでいる

道路舗装工事

## 大同舗道株式会社

中央区北2東17

環境保全 ■社員参加 ■機会創出

造形コンサルティング

## 株式会社 ウェザーコック

豊平区月寒西

文化芸術 ■機会創出







団体の活動には同社社員が参加することもしばしば。地域との一体感が高まるそう



北海道限定発売のジョージアの売上げの一部を財団に寄付

清涼飲料水販売

## 北海道コカ・コーラ ボトリング株式会社

清田区清田

環境保全 ■その他

# 北海道、北海道環境財団と 水辺の環境保全団体を支援 「北海道e-水プロジェクト」

### どさんこ企業として 水資源を守る活動を

「清涼飲料水を販売している当社は水の恩恵を受けている。どさんこ企業として、北海道の水資源を守り、次世代に引き継いでいきたい」。そんな思いから北海道、財団法人北海道環境財団と3者協働で「北海道e-水プロジェクト」を推進しているのが北海道コカ・コーラボトリングです。

平成19年から、「ジョージアサントスプレミアム北海道限定デザイン缶」の売上げ金の一部を同財団法人に寄付しているほか、公募のうえ選出した道内各地の水に関係する環境保全団体に対して助成、支援を行っています。

### 平成22年は7団体支援 活動には社員も参加

支援先については、1年毎に募集し、選考会を経て、水辺の

環境を守る活動をしている団体を道内各地から広く選出しています。

平成22年の支援団体は、「どりがに探偵団(旭川市)」「美幌町郷土史研究会(美幌町)」「NPO法人ふらつと南幌(南幌町)」など全道各地の7団体。水辺の観察会から河川敷清掃まで活動内容は多岐にわたたり、毎年フォーラムを開いて活動結果を発表する場を設けています。

この活動には同社社員が参加することもしばしば。社員も積極的にかかわることについて、CSR推進室は「活動を通して、社員の地域愛が深まるとともに、地域への密着度も高まっている」と語ります。

### 成功の秘訣

三者協働により  
活動の  
規模を大きく

● 相互に連携する



毎週月曜日の朝、社員全員がごみ袋を持って、ごみ拾いに精を出す

札幌発寒工業団地で自動車の整備・販売を行う丸八庄田商会は、毎週月曜日の業務開始前に、幹線道路から社屋へとつながる市道や新川堤防沿いの緑地で全社員参加による清掃活動を行っています。平成

自動車整備・販売

有限会社 丸八庄田商会

西区発寒

環境保全 ■社員参加

## 社員の社会人としての意識向上にも効果 後に工業団地の全体の取組に発展

「結果的に社員の社会人としての意識向上にもつながっている」と思わぬ効果があったことにも言及。同社の活動は35社が加盟する工業団地協同組合にも波及し、平成22年秋からは年2回ほど工業団地内で全社一斉に清掃活動を行うという動きにつながりました。

15年から開始したこの取組は、仕事から車に乗る機会が多い同社の中本圭洋取締役会長が、車中から、道路脇に散乱するごみの多さを感じたのがきっかけでした。中本会長は活動が長続きしている理由について「習慣化したのが良かった」と述べ、「結果的に社員の社会人としての意識向上にもつながっている」と思わぬ効果があったことにも言及。同社の活動は35社が加盟する工業団地協同組合にも波及し、平成22年秋からは年2回ほど工業団地内で全社一斉に清掃活動を行うという動きにつながりました。



工業団地協同組合で同社の活動が話題になり、団地全体の取組に発展

売上金寄付

清

掃

土地提供



貸与された土地では、学年で区画を割り当て、ジャガイモなどを栽培

札幌市立石山南小学校に隣接する石山病院では、「子どもたちの学習の場として畑を借りたい」という学校側からの要望を受け、敷地内の土地を無償で提供。同小学校ではこの畑を「学校農園」として

病院

医療法人 社団 信洋会  
石山病院

南区石山

教育 ■物品提供

## 作物栽培の場として小学校に土地を提供 畑から生まれたつながりと温かい交流

児童が収穫した野菜を持ってきたり、授業の一環で病院見学を訪れることもあるそうです。学校の取組のため、畑のことは「先生たちにおまかせ」。地域の子どもたちの成長を温かく見守っています。

整備・管理し、児童が様々な作物栽培に挑戦しています。このことについて「子どもたちに食べ物のありがたみや農家の人の苦勞を知ってもらえたらと思っています」と吉村淑子事務局長。また、小学校の岡田悌二教頭は「いい体験ができるようにという心も込めて貸してくれていることに感謝している」と話します。



広い畑で育てた「自分の野菜」を収穫する石山南小学校の児童たち

水産卸売

## 札幌シーフーズ株式会社

中央区北14西18

地域安全 ■社員参加

**朝の通勤ラッシュ時間帯に安全運転を呼びかけ**

ウインカーやストップランプのない構内搬送車が市場内を走る様子を見て、安全運転の大切さを実感したという札幌シーフーズの北村勝満代表取締役。以来、交通安全への取組を開始し、朝の通勤ラッシュの時間帯に、社員が道路脇に立って交通安全旗を振っています。



旗を振って安全運転を呼びかける社員

木製建具・造作家具・木枠の製造施工

## 鷺尾ウッドワーク株式会社

東区北48東18

環境保全 ■社員参加

**花壇設置や清掃・除雪など小さな活動を大事に継続**

社員でお金を出し合い、春から秋に社屋前に鉢植えの花壇を設置。そのほか、周辺道路の清掃や除雪など様々な活動を行っています。「活動は社員の連帯感を育てる教育」と鷺尾代表取締役。「地域への恩返しのできる気持ちで小さなことでも大事に続けている」とも話します。



花壇づくりは社員からの提案でスタート

## 事例紹介Ⅳ

まだまだある

# 企業による取組

情報通信サービス

## 株式会社 つうけん

白石区本通

環境保全 ■社員参加

**社員参加型植樹活動「つうけんの森」づくり**

300台前後の社用車を走らせていることから、環境保全のために何かしたいと考えた田原社長が、社内一斉メールで活動内容を募ったのが植樹活動の始まり。より多くの社員が参加し、楽しめるように、当日はレクリエーションを兼ねるなどの工夫をしています。



第1回目は200人ほどの社員が参加

産業廃棄物収集、運搬、処理

## 北海道衛生工業株式会社

東区丘珠町

その他 ■物品提供

**リサイクル堆肥を提供 体験農場の畑づくりに一役**

食品工場などから収集した生ごみを自社で堆肥化し、農家に運搬・提供しています。平成22年には、この堆肥を施用した丘珠・北島農場の畑で、地元幼稚園の園児がジャガイモの栽培を体験。同社では「無理せず仕事の延長線上で、地域の活動に参画できれば」と考えています。



春に植え付けたジャガイモを園児が収穫

道路舗装工事

## 秋津道路株式会社

豊平区中ノ島

環境保全 ■社員参加

**会社周辺の清掃活動を開始 冬期は転倒防止に砂散布も**

「長く続けられることを」と考え、平成22年1月から豊平区アダプト制度に参加。地域住民とともに会社周辺道路沿いのごみ拾いを行い、冬場は自主的に地下鉄中の島駅周辺での砂まきを実施しています。活動は社員間のコミュニケーションの場にもなっているそうです。



本社社員が2カ月に1度清掃活動を実施

日用品販売

## ホームック株式会社

厚別区厚別中央

環境保全 ■社員参加

**「ホームマックの森」を増やす**  
 カミネツコンで  
 カミネツコンによる森づくりを4年前から継続しているホームマック。社員と地域住民で種を獲り、苗木を栽培するところから手がけています。再生ダンボールを使った植栽ポットは、社名入りのものを用意。店舗のあるエリアすべてに「ホームマックの森」をつくるのが夢です。

植樹には社員とその家族も参加している



保育園

## 社会福祉法人 札幌光明園 まこと保育所

白石区菊水

その他 ■その他

**「ご近所付き合いのノリで  
地域とコミュニケーション」**  
 「保育所をひとつの資源として役立たせたい」と話す真鍋尚美所長。所内でのお下がり衣類提供や住民への物品貸し出しなど、昔ながらの「ご近所付き合い」のノリで地域と接しています。毎年夏には保護者主催で周辺の住民も自由に参加できる「園庭ビアガーデン」も開催。

毎年開催される「園庭ビアガーデン」



土木、とび・土工、建築

## 北土建設株式会社

中央区南10西14

環境保全 ■社員参加

**揃いのジャンパー着用で  
会社周辺のごみ拾い**

地域への恩返しとして、平成20年に中央区道路アダプト制度を締結し、環境美化活動を続けています。主な取組は月1回ペースで行う社屋周辺のごみ拾い。揃いのジャンパーを着用し、社員の士気を上げていきます。また冬期には砂箱を設置。歩道や交差点への砂まきも行っています。

活動には毎回10〜15人の社員が参加



住宅建築

## 有限会社 藤城建設

東区中沼町

地域安全 ■その他

**早朝の除雪を続けて約15年  
冬の通勤・通学をサポート**  
 「冬場の地域安全に寄与できれば」と、藤城社長自らショベルカーで社屋前の通勤・通学路の歩道除雪を実施。朝5時から夜7時まで革靴で歩ける状態を保っています。また「生まれ育った中沼を人の集まる地区にしたい」との思いから、様々な地域づくり活動に取り組んでいます。

バス停と信号の間、約100mを除雪



設備設計

## 株式会社 山道設備設計事務所

白石区北郷

環境保全 ■その他

**子どもたちの笑顔のために  
公園の清掃が日課**  
 子どもたちが気持ち良く遊べるようにと、社屋の前にある公園のごみ拾いやトイレ掃除をすでに10年以上続けている山道富美男代表。冬期は自前の機械で園内と周辺を除雪。クリスマスには社屋をイルミネーションで飾ります。長く続ける秘訣は「楽しんでやること」。

清掃活動できれいに保たれている公園



電気通信設備工事

## コムシス北海道 エンジニアリング株式会社

手稲区手稲星置

スポーツ ■物品提供

**町内会からの要請に応え  
社員用駐車場を開放**

ほしみ町内会からの要請により、土日・祝日に限り、近所の星置西公園野球場で練習や試合を行う少年野球チームとその関係者に同社の社員用駐車場を開放。この取組は、野球場周辺の路上駐車防止に効果を上げ、地域の生活環境改善や住民の安全確保に貢献しています。

駐車場は町内会と利用協定を結び開放

